



思川だより



令和元年12月10日 第70号

工事の状況

現在、思川開発建設所では、付替県道・林道の新設工事11件、ダム本体の準備工事3件、導水施設本体の準備工事として引田地区の道路の拡幅工事を実施しています。

付替県道の工事現場では、「付替県道中村3工区工事(約148m区間)」が完成しました。今後は、当工区の上流側で施工中の「付替県道4号橋」との間の尾根を192mのトンネル(写真の点線区間)でつなげる予定です。



4号橋上部工(施工状況)
上流側より撮影

	トンネル施工予定箇所
	トンネル坑口箇所



ドローン撮影による工事状況写真



中村3工区(完成工区)
下流側より撮影

今回は、付替県道の橋梁工事について、右写真に示す4号橋を例に説明します。付替県道に架ける橋梁はいずれも「桁橋」という形式の橋です。下部構造(橋台・橋脚)を橋の支持台として、その間に架ける主桁で上載荷重を支える形式で、別名「ガーター橋」とも呼ばれています。

主桁を架設後、自動車などの走行路面となる「床版(しょうばん)」を鉄筋コンクリートにより構築します。また、「地覆(じふく)」という突起状のコンクリート構造物を両サイドに設け、この部分に高欄(防護柵)を設置します。この主桁の架設から床版、地覆、高欄までの一連施工を「橋梁上部工」と呼んでいます。主桁は工場で製作され、トレーラーで運べる長さ分割して現場に搬入されます。現場では分割された主桁を「ベント」と呼ばれる鋼製の仮設の受け台で一時的に支え、高い強度と締め付けが期待できる「高力ボルト」で連結して組み立てます。4号橋の施工現場では、現在、主桁の架設が完了し、床版の施工に着手したところです。



移動式クレーンによる架設状況

今後、付替県道工事を急ピッチで進めていきますが、引き続き、騒音振動対策、濁水の発生抑制対策などの環境対策や、工事用車両の速度規制などの安全対策に万全を期して参りますので、皆様方のご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。なお、工事の状況は当建設所HPからご覧になれますので、是非ご覧下さい。

生態系保全委員会（現地視察会）を開催しました

11月18日(月)に「思川開発事業生態系保全委員会」の現地視察会を開催しました。

この委員会は、事業における具体的な環境保全対策について指導・助言を頂くため、学識者・専門家により構成しているものです。委員の方々には、導水路工事にかかる大芦川取水・放流工及び南摩注水工施設予定地、南摩ダムダムサイバ敷地造成工事の状況等についてご視察いただき、今後の工事進捗における具体的な環境保全対策等について指導・助言をいただきました。



大芦川取水・放流工施設予定地の状況確認



南摩注水工予定地の状況確認

第12回上南摩そば祭りが開催されました

令和元年11月17日(日)、鹿沼市上南摩地区にて、「第12回上南摩そば祭り」が開催されました。このお祭りは、上南摩そば祭り実行委員会が主催し、上南摩町自治会、南摩ダム対策委員会、水資源機構が後援しています。

当日は、上南摩産そば粉を100%使用した新そばの提供や、お土産用そば・からみ餅の販売が行われ、多くの方がお越しになりました。特に地元のそば打ち名人たちによる「三たてそば」には大行列ができ、1杯食べた後に追加注文する人が続出するなど、上南摩そばの美味しさに来場された皆様はとても満足そうな笑顔を浮かべていました。



ご挨拶をされる金子代表と駒場自治会長



挽きたて・打ち立て・茹でたての三たてそば



賑わいを見せる会場の様子



提供されたそばを召しあがる人々

上南摩の動植物

和名：ホトケドジョウ 学名：*Lefua echigonia*

目名：コイ目

科名：ドジョウ科

分布：栃木県内では、北部から南部まで比較的広い地域で確認されていますが、分布は局所的です。

環境省：絶滅危惧ⅠB類

栃木県：絶滅危惧Ⅱ類(Bランク)

標準体長は4cmほどですが、6cm前後の大型の個体も見られます。体色は茶褐色または赤褐色で、体には黒点が散在しています。

体型は細長い円筒形で、4対(8本)のひげがあります。

丘陵地帯や平野部の水田周辺の細流、農業用水路に生息し、雑食性で、水生昆虫等の小動物を主食としています。1年ほどで成熟し、春になると水草等に産卵をします。

思川開発建設所では、保全対策の一環として湛水予定地に生息しているホトケドジョウを試験的に移植し、環境への適応性を確認しています。

(出典：レッドデータブックとちぎ 2018 改訂版)



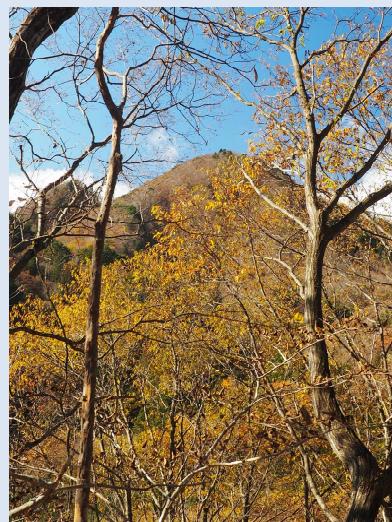
昨年度の環境学習会にて採捕したホトケドジョウ

再発見！鹿沼の魅力（第14回）

栃木百名山「地蔵岳」と思川源流

標高 1,274 メートル。栃木県鹿沼市と日光市の境界にまたがる^{じぞうだけ}地蔵岳は、栃木百名山のひとつです。初冬を迎えたこの時期、山頂周辺のミズナラ、シラカバ、ブナなどの広葉樹は葉を落とし、視線を北に向けると木々の間から男体山、そして北西方向には足尾山塊の^{すかいさん}皇海山も。ちなみに栃木県の有名なちごの品種、スカイベリーはこの皇海山からネーミングされています。

地蔵岳山頂へは鹿沼市上粕尾から日光市足尾町を結ぶ（県道 15 号線）粕尾峠の登山道入り口から徒歩で小一時間。思川源流には、山頂に至る手前の地蔵平を標識に従い 10 分ほど進んでいくと到着します。秋の紅葉シーズンも終わり、訪れるハイカーの姿も少なくなり、深閑とした樹林帯で源流の岩の隙間から滴る水の音が感慨に浸らせてくれます。



落葉樹の間から望む地蔵岳



幽玄な佇まいの思川源流

< 基礎処理、基礎掘削 ～ダムを造る準備～ >

第 68 号で紹介した仮排水路トンネルに川の
流れを迂回させた後は、ダムを造るための準備
として、基礎掘削と基礎処理を行います。

基礎掘削は、ダムの基礎岩盤を露出するた
め、測量、伐採などを行った後、弱い岩盤など
をブルドーザやダイナマイトで掘削して取り除く工
事です。

次に、基礎処理として、基礎岩盤の軟らかい部分や割れ目を補強するとともに、基礎岩盤から水が漏れない
ようにするために、基礎岩盤にボーリングした穴からセメントミルク(セメントと水を混ぜたもの)を流し込みます。専門
用語で『グラウチング』といいます。



河床部グラウチング状況



堤体右岸基礎掘削状況

筑後川水系で建設中の小石原川ダムでの施工状況

下

野

か

る

た

より

栃木県内の地元かるたを用いて、

様々な歴史・文物を紹介するこのコーナー。

引き続き、『下野(しもつけ)かるた』(栃木県文化協会発行)からの紹介です。

< おたりやの甘酒 >

「おたりや」は、1 月 15 日と 12 月 15 日
に、宇都宮二荒山神社で行われるお祭りです。
1 月は「春渡祭」、12 月は「冬渡祭」と
書きますが、読みはどちらも「おたりや」
です。境内は火災よけ・無病息災を祈る氏
子で賑わい、夜になると神輿が渡御し、お
旅所前では田楽舞いが奉納されます。また、
各家庭では甘酒を作る風習がありました。

今年も残すところあとわずかです。体を
温かくして、よい新年をお迎えください。



編集後記

12 月になり、より一層肌寒くなって参りました。当建設
所では台風による事務所の復旧作業も完了し、一安心し
ているところです。年末を迎えるに当たり、日々の生活
においても慌ただしさが増してくる時期ではありますが、お身体に気をつけ、良い年をお迎えください。

お知らせ

▼思川開発建設所では、随時、現場をご案内い
たします！詳しくはお電話またはHPをご覧
下さい！

▼「思川だより」に関するご意見・ご要望を募
集しています！お気軽に下記連絡先までお寄
せ下さい！

編
集
・
発
行



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

T e l (0289) 85-1110 F a x (0289) 85-1211

<http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/index.htm>

思川開発

検索

